僕の優しい
淫乱巨乳ママ

、、、ママ
ただいま、、、
ガチャ
！？
お帰り～
早いのね
『ゆう君！？』
それ、、、どうしたの？
『ママ』
早くに夫を亡くした未亡人

どうしたのっ
傷だらけじゃない？

、、、うん

なんでもない

友達と何かあったの？

ゆう君

『ゆう君』傷を負って帰ってきた息子

ボロ…

ゆう君、、、

大丈夫だって
何でもない

、、、分かったわ
こっちにきて

ガッ

プシュッ♡

!?

ゆう君、、、
家族なんだから、、、
何かあったらなんでも
言っていいのよ

ぎゅう♥

子供はいっだって
ママに甘えちゃって
いいんだからね

くび

ふにっ

ふにっ

ママ、、、
苦しいよぉ

暖かくて
柔らかくて
いい匂い

ママの
おっぱい

くに

くに

ママのおっぱい、、、

ひゃん！？
ゆう君！？

ぐに

ママ、、、

ちゅう

ちゅう

おっぱい
は、、、

ママのおっぱい
吸っちゃ、、、
く、、、ん、、、

ゆ、ゆう君
ママのおっぱいは
もう出ないのよぉ

、、、ゆう君。
こんなに夢中で
しゃぶって、、、

ぴ

ちゅぅー♡

ん♡

はんっ

ぴ

ゆうくぅん

ちゅ

ちゅ♡

んっ

ぢゅる♡

赤ちゃんみたい

私の、、、
大きな赤ちゃん

ママ

今までの分まで
甘えていいんだ
から

ママ

ちゅ♡

こんな甘え方
もありかな

ぢゅぅ♡

でも、、、
服の上からしゃぶら
なくてもいいのに

ゆう君、、、
ちょっと
待っててね

ほら、、、ゆうくぅん
ママのおっぱだよぉ

ばっ

ぷるん

ぷり

ぷり

モン

ムチ

いっぱい吸っても
いいんだよ

ママのおっぱい
おいしい？

くふんっ

、、、、、、、。
この感じ、、、久しぶりで
変になっちゃいそう

ちゅぱ♡

ん♡

ぢゅぱ

ぺぺ

ぢゅぱ

ぺぺ

あんっ
変な声出ちゃうっ

ぷちゅ

ちゅぷ

くぷ

ゆう君
激しいぃ

おっぱい
気持ちよく

ぺん

ぺロ

なっちゃうぅっ

や、やだぁ
感じちゃったぁ

ハマ♡
ハマ♡

そわっ

あの、、、

そじ

、、、ママ

ゆう君、、、？
どうしたの？

そじ

僕ね、、、

くちゅ

変な感じなの

そじ

ママ、、、
僕、変なの？

僕のおち●ちん
苦しいよぉ

そじ

ぷん
ぷん

、、、あ

そ、そうだよね
男の子、、、
だもんね

ううん、
変じゃな
いよ

服を脱いで、、、
ゆう君、
ママに任せて

ゆう君の、、、おち●ちん
半剥けで可愛いけど
大きく育ってるわぁ、、、

ぽお

ま、ママ

ビキ

ビキ

ビキ

汗と
おしっこの
匂いが、、、

何も考えられなく
なっちゃう、、、
久しぶりのおち●ちん

いただきまぁ〜す

ちゅ♡

ひゃあ

ママぁ、、、なんか怖い

ん

おち●ちんっ
ゆう君のおち●ちん
美味しいっ

ぁぁっ

ジュボ

ズルル

くふ

柔らかいけど
芯があって

ボッジュ

ズュル

んぁ

なんてイヤらしい
味なの、、、

チュボ

ズルリ

ザラザラして

ペル

ペル

チ●カスが
口に広がって

これがゆう君の味なのね
ママ好きよぉ

ゆう君のおち●ちんがママの口でどんどん大きくなってるの分かるぅ？

プチュ

ああ、ママぁ

ズュル

ジュプ

ズプ

いいのよ、、、気持ちよかったら声出してもいいんだから

ジュププ

ズュプ

ズリ

ママのお口で気持ちよくなって、、ゆう君のイヤらしい声を聞かせてほしいのぉ

ママぁ変だよぉ

プズュ

ゆうくぅん、、、これでいいの何も変じゃないのよ

ポプュ

じゅぷ

もん

ママは子供の為になんだってやってあげるんだからぁ

甘えていいの

こんなママを許して、、、

ハァ♡

ハァ♡

もっとママに甘えて、、、

ハァ
たぷ
たぷ
その大きくなった
おち●ちんをここに
ブッ挿すの
ゆう君、、、
ここ、なんだか
知ってるかなぁ？
ハァ
ハァ
ママの、、、
あそこに、、、
くぱぁ
上手よ、、、
ゆうくぅん
ブッ挿す！
はぁんっ
ちゅぷぷ

ま、ママぁ どうしたらいいか わかんないよぉ

大丈夫

ママが動かしてあげる。おち●ちんが抜けないようにするのよ

いち、に、、、いち、に、、、いち、に、、、

いち、に、、、いち、に、、、

ゆっさ

たぷん

ぷにぷにぷに

ママぁ
ママぁ

僕、、、
ぼくぅ、、、

はぁんっ
ゆうくぅん、それいいっ
乳首きもちぃい！

ぎゅうう

あはん

はぁん

ママの敏感になってる
乳首もっといじめてぇ

ひゃぁは

ハマ

んぐ

んぐ

いいのぉ
ゆう君、天才よぉ

ハマ

ママの敏感
乳首ぃ

ビク

ビク

歯形残っちゃ
うぅ

もっとぉ、もっとぉ
もう、、、我慢れきなぃ
頭おかしくなっちゃう

ハマ

ハマ

ハマ

イヤらしい
ママでごめんね

ママは激しいのが好きな淫乱女なのぉ
ゆう君っ、ママが動くから一緒に気持ちよくなってぇ
ん♡
ん♡
ママぁすごぃ、、、
ふふ、、、ママのおっぱいでゆう君の顔見れなくなっちゃう
くにゅ
ぽよ
この体位、、、
いいのぉ！おち●ちんが一番感じるわぁ！
たぷ
たぷ
奥に入ったり出たりして擦れるのが気持ちいいのぉ
もっと激しくなるわよぉ

はぁん

あん！

はぁあん！
凄いのぉ
ゆう君のおち●ちんがまた
大きくなったわぁ

ママで感じてくれてるのね！
ゆうくぅん、ゆうくぅん！

くぅん

ぷる

ぷる

あぁはぁあん！
腰がとまらなぁい！

あん

ゆう君のが
ママを夢中にさせ
るのぉ

あん

ママのぐちゃぐちゃな
アソコを慰めるのは、
もうゆう君のおち●ちんしか
考えられないのよぉ！

くふん

あは

ゆうくぅん！こんな淫乱ママを許ちてぇ！
あへ♡
あへ♡
ぶるんぶる
ママは、息子のおち●ちんで気持ちよくなっちゃう淫乱ママなのよぉお！
いつでも出していいのよ！
ゆう君の初めての膣内射精はママの中にしてぇえ！
ズチュ
プチュ
グチュ
ゆう君のおち●ちん汁をママの中にどぴゅどぴゅってぶちまけるのよぉお！

ひぃやぁぁぁぁん！
あへぇ
へぇ
ゆう君の初めてぇえ！
ママにちょうだぁあいいい！
ビク
ビク
ぁぁぁぁぁん！

ゆうくぅん
ママの中にいっぱい出たよぉ
ママの、、、中
そうよぉ
初めての中出しの相手はママなんて、、、嬉しいわ
ハァ
ハァ
、、、ママ
ハァ
ぼく、、、僕
ハァ
僕も、、、嬉しい
ハァ♡

はい、これでOK

うん

息子の手当てより自分の欲に負けちゃうなんて

母親失格ね、、、

ごめんね、ゆう君。駄目なママで、、、嫌いになったよね

ごめんね ごめんね

そんなことない！僕、ママを嫌いになんて絶対ならない！

ゆう、、、君？

誰がなんて言ったって僕はママが大好きだよ！

パパがいなくたってママがいてくれれば全然寂しくなんてないし、学校の奴なんてなんともないんだっ

だから、、、ママ、、、そんな事言わないで

ゆう君、、、ごめんね、もう言わないわ

パパとママの事で友達とケンカしたのね

ありがとう、、、ママを守ってくれたのね

ゆう君、、、ありがとう

、、、そうだわ ママ、良いこと思いついちゃったっ

今度、その友達を家に連れてきなさい

え、、、

今度は、、、ママがなんとかしないとね

ママも何かしてみようと思うの

次の日、、、

おじゃましまーす

はぁーい

こんにちわぁ～
ゆう君ママで～すっ

キャピ♡

ゆう君ママから
みんなにお願いが
あるのぉ～

ポョ

ポョ

みんな、ゆう君と
仲直りして欲しい
の～

お～！

超はずぃ

ママのお願い
聞いてくれる人～
手ぇ～上げてぇ～

はぁ～い！

おわり

、、、ママ
ただいま、、、
ガチャ
！？
お帰り～
早いのね
『ゆう君！？』
それ、、、どうしたの？
『ママ』
早くに夫を亡くした未亡人

どうしたのっ
傷だらけじゃない？

、、、うん

なんでもない

友達と何かあったの？

ゆう君

『ゆう君』傷を負って帰ってきた息子

ボロ…

ゆう君、、、

大丈夫だって
何でもない

、、、分かったわ
こっちにきて

ガッ

プニュッ

!?

ゆう君、、、
家族なんだから、、、
何かあったらなんでも
言っていいのよ

ぎゅう♡

子供はいっだって
ママに甘えちゃって
いいんだからね

暖かくて
柔らかくて
いい匂い

ママの
おっぱい

くぐ

ふに

ふにっ

くに

くに

ママ、、、
苦しいよぉ

ママのおっぱい、、、

ひゃん！？
ゆう君！？

ぐに

ママ、、、

ちゅぷ

おっぱい
は、、、

ちゅぷ

ママのおっぱい
吸っちゃ、、、
く、、、ん、、、

ゆ、ゆう君
ママのおっぱいは
もう出ないのよぉ

、、、ゆう君。
こんなに夢中で
しゃぶって、、、

ぷ

ちゅっ♡

んぷ

はんっ

ゆうくぅん

ぷ

ちゅ♡

ちゅ♡

んっ

ぢゅる♡

赤ちゃんみたい

私の、、、
大きな赤ちゃん

ママ

今までの分まで
甘えていいんだ
から

ママ

ちゅ♡

ぢゅっ♡

こんな甘え方
もありかな

ママ

でも、、、
服の上からしゃぶら
なくてもいいのに

ゆう君、、、
ちょっと
待っててね

ほら、、、ゆうくぅん
ママのおっぱだよぉ

ばっ

ぷるん

ぷり

ぷり

モン

ムチ

いっぱい吸っても
いいんだよ

ママのおっぱい
おいしい？

くふんっ

、、、、、、、。
この感じ、、、久しぶりで
変になっちゃいそう

ぢゅぷっ

ぷく

ぷく

ぷちゅ

ちゅぷ

あんっ
変な声出ちゃうっ

ゆう君
激しいぃ

おっぱい
気持ちよく

ぶん

なっちゃうぅっ

や、やだぁ
感じちゃったぁ

ハマ♡
ハマ♡

そわっ

あの、、、

そじ

、、、ママ

ゆう君、、、？
どうしたの？

僕ね、、、

そじ

くちゅ

変な感じなの

そじ

ママ、、、
僕、変なの？

僕のおち●ちん
苦しいよぉ

そじ

ぷん
ぷん

、、、あ

そ、そうだよね
男の子、、、
だもんね

ううん、
変じゃな
いよ

服を脱いで、、、
ゆう君、
ママに任せて

ゆう君の、、、おち●ちん
半剥けで可愛いけど
大きく育ってるわぁ、、、

ぽよ

ド キ

ド キ

ド キ

ま、ママ

汗と
おしっこの
匂いが、、、

何も考えられなく
なっちゃう、、、
久しぶりのおち●ちん

いただきまぁ〜す

ちゅ♡

ひゃあ

ママぁ、、、なんか怖い

ん

おち●ちんっ
ゆう君のおち●ちん
美味しいっ

ぁぁっ

ジュボ

ボジュ

ズュル

ズュル

くふ

んぁ

柔らかいけど
芯があって

なんてイヤらしい
味なの、、、

ズルリ

チュボ

プル

プル

ザラザラして

チ●カスが
口に広がって

これがゆう君の味なのね
ママ好きよぉ

ゆう君のおち●ちんがママの口でどんどん大きくなってるの分かるぅ？

プチュ

ああ、ママぁ

ズル

いいのよ、、、気持ちよかったら声出してもいいんだから

ジュプ

ズプ

ジュププ

ズプ

ズリ

ママのお口で気持ちよくなって、ゆう君のイヤらしい声を聞かせてほしいのぉ

ママぁ変だよぉ

プズュ

ゆうくぅん、、、これでいいの何も変じゃないのよ

ポプュ

じゅぷ

ママは子供の為になんだってやってあげるんだからぁ

もん

甘えていいの

こんなママを許して、、、

ハァ♡

もっとママに甘えて、、、

ハァ♡

ハァ
たぷ
たぷ
その大きくなった
おち●ちんをここに
ブッ挿すの
ハァ
ゆう君、、、
ここ、なんだか
知ってるかなぁ？
ハァ
ママの、、、
あそこに、、、
くぱぁ
上手よ、、、
ゆうくぅん
ブッ挿す！
はぁんっ
ちゅぷぷ

ま、ママぁ どうしたらいいか わかんないよぉ

大丈夫

ママが動かしてあげる。おち●ちんが抜けないようにするのよ

いち、に、、、いち、に、、、いち、に、、、

いち、に、、、いち、に、、、

抜けないようにママにつかまってぇ

いち、に、、、ゆう君上手よんぁっ

ハァ ハァ ハァ

じゅぷ じゅぷ

ゆっさ

たぷん

ぷぷぷぷ

チュプ

ヌプ

ズリ

ママぁ
ママぁ

僕、、、
ぼくぅ、、、

はぁんっ
ゆうくぅん、それいいっ
乳首きもちぃい！

ぎゅうう

あはん

はぁん

ママの敏感になってる
乳首もっといじめてぇ

ひゃぁは

ハマ

んぐ

んぐ

いいのぉ
ゆう君、天才よぉ

ハマ

ママの敏感
乳首ぃ

ビク

ビク

歯形残っちゃ
うぅ

もっとぉ、もっとぉ
もう、、、我慢れきなぃ
頭おかしくなっちゃう

ハマ

ハマ

ハマ

イヤらしい
ママでごめんね

ママは激しいのが好きな淫乱女なのぉ
ゆう君っ、ママが動くから一緒に気持ちよくなってぇ
ん♡
ん♡
ママぁすごぃ、、、
ふふ、、、ママのおっぱいでゆう君の顔見れなくなっちゃう
くにゅ
ぽよ
この体位、、、
いいのぉ！おち●ちんが一番感じるわぁ！
たぷ
たぷ
奥に入ったり出たりして擦れるのが気持ちいいのぉ
もっと激しくなるわよぉ

はぁん

あん！

はぁあん！
凄いのぉ
ゆう君のおち●ちんがまた
大きくなったわぁ

ママで感じてくれてるのね！
ゆうくぅん、ゆうくぅん！

くぅん

あぁはぁあん！
腰がとまらなぁい！

ゆう君のが
ママを夢中にさせ
るのぉ

あん

ぷる

ぷる

あん

ママのぐちゃぐちゃな
アソコを慰めるのは、
もうゆう君のおち●ちんしか
考えられないのよぉ！

くふん

あは

ゆうくぅん！こんな淫乱ママを許ちてぇ！
ぶるんぶる
ママは、息子のおち●ちんで気持ちよくなっちゃう淫乱ママなのよぉお！
いっでも出していいのよ！
ゆう君の初めての膣内射精はママの中にしてぇえ！
ゆう君のおち●ちん汁をママの中にどぴゅどぴゅってぶちまけるのよぉお！
プチュ
ズチュ
グチュ

ひぃやぁぁぁぁん！
ゆう君の初めてぇぇ！
ママにちょうだぁぁいいい！
あぁぁぁぁん！
ビク
ビク
あへぇ
へぇ
ハァハァ

ゆうくぅん
ママの中にいっぱい出たよぉ
ママの、、、中
そうよぉ
初めての中出しの相手はママなんて、、、嬉しいわ
ハァ
ハァ
、、、ママ
ハァ
ぼく、、、僕
ハァ
僕も、、、嬉しい
ハァ♡

はい、これでOK

うん

息子の手当てより自分の欲に負けちゃうなんて

母親失格ね、、、

ごめんね、ゆう君。駄目なママで、、、嫌いになったよね

ごめんね ごめんね

そんなことない！僕、ママを嫌いになんて絶対ならない！

ゆう、、、君？

誰がなんて言ったって僕はママが大好きだよ！

パパがいなくたってママがいてくれれば全然寂しくなんてないし、学校の奴なんてなんともないんだっ

だから、、、ママ、、、そんな事言わないで

ゆう君、、、ごめんね、もう言わないわ

パパとママの事で友達とケンカしたのね

ありがとう、、、ママを守ってくれたのね

ゆう君、、、ありがとっ

、、、そうだわ ママ、良いこと思いついちゃったっ

今度、その友達を家に連れてきなさい

え、、、

今度は、、、ママがなんとかしないとね

ママも何かしてみようと思うの

次の日、、、

おじゃましまーす

はぁーい

こんにちわぁ～
ゆう君ママで～すっ

キャピ

ゆう君ママから
みんなにお願いが
あるのぉ～

ポョ

ポョ

みんな、ゆう君と
仲直りして欲しい
の～

お一！

超はずぃ

ママのお願い
聞いてくれる人～
手ぇ～上げてぇ～

はぁ～い！

おわり